

- 遠隔授業教員・受講生インタビュー
- 「長野県内大学合同就職説明会」を開催しています
- 「K³ 茶論」にお越しく下さい！
- 第8回虹色フェスティバル開催！
テーマは「ONE～つながる心」
- 運営会議が開催されました
- 加盟大学の紹介
- コンソーシアム会員募集中！
- 編集後記

高等教育コンソーシアム信州事務局
〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 信州大学学務課内
電話：0263-37-2427 FAX：0263-36-3044
URL：http://www.c-snet.jp/ MAIL：office@c-snet.jp

※「S-NET」は高等教育コンソーシアム信州の通称です。「S」は Shinshu・Self-Study・Share・Scale・Social を表し、「NET」は情報通信・教職員・学生間のネットワークを表します。

遠隔授業教員・受講生インタビュー

平成 22 年 4 月から、県内 8 大学を結ぶ遠隔授業がスタートしました。前期は 12 科目が開講され、県内 8 大学の学生 594 名（遠隔地受講者 55 名）が受講しました。

高等教育コンソーシアム信州事務局では、遠隔授業担当教員と受講した学生さんを訪ね、遠隔授業の様子や感想などをインタビューしました。今回は、その模様をお伝えします。

「たてなおしの英語」で、 英語も自信も立て直してほしい

清泉女学院大学 人間学部 田村 亮子教授

担当科目／前期「英語基礎Ⅰ」（木曜・1限）、「英語基礎Ⅱ」（月曜・1限）
※通称「たてなおしの英語」

■英語を克服した力が自信につながる

田村亮子先生は、清泉女学院大学で週2回開講されている「たてなおしの英語」を、遠隔授業として開講してくださいました。

昨年度までは、「たてなおしの英語」の授業を毎回ビデオで撮影し、DVD にして自大学の学生に貸し出していました。「欠席したり、説明を聞き逃して分からなくなった部分について『録画を見ることで、理解を補う』目的でしたが、貸し借りが面倒で、見たいのに見損なってしまうという声が多かったのです。その点、eChes（イーチェス。3 ページ参照）で、いつでも見たいときに講義ビデオが見られるようになったのは、遠隔授業の大きなメリットです。他大学より、清泉女学院大学の学生にとって、メリットの多いシステムかもしれませんね（笑）」

また、「英語は、どの分野でもどんな時代でも付きまとうもの。英語にずっと苦手意識を持つことは、実は自分への自信を失わせることにつながっているんです」と言う田村先生。英語を克服することは、英語が苦手なことで損なわれている自信を回復することになると言います。

苦手を克服したという経験が人生において大きな力になることを、ご自身の体験や卒業生の姿から感じるという田村先生。「学生は、社会に出てから困難なことにたくさん直面するでしょうが、『たてなおし



清泉女学院大学 田村 亮子教授

の英語』で英語を克服できたのだから、たぶん私はやっていける、大丈夫、と自信につなげてほしい。これこそ『たてなおしの英語』を通じて私がやりたいことだと思っています。」

■コンソーシアムは「大きな宝」

「遠隔授業をすることになって、この授業を他の先生方に見ていただくことができるようになりました。見ていただいた先生方からは、様々なコメントをいただいたり、授業内容、方法について相談に乗っていただけようになり、今後のこの授業の新たな可能性について考えることができるようになりました。大学コンソーシアムの意義は、『つながれる』ということ。『つながれる』ことによって、いろいろなアイデアが出てくるし、不可能だったことが可能になっていく。それは学生たちだけでなく、参加している教職員たちにとっても、大きな宝になるのではないかと思います。」

遠隔授業教員・受講生インタビュー

各大学を巡回し、 遠隔授業をフォローアップ

信州大学 全学教育機構 松岡 幸司准教授

担当科目／前期「ドイツ語(初級)Ⅰ」、後期「ドイツ語(初級)Ⅱ」
(ともに月曜・5限)

■開講前は不安でいっぱい

松岡幸司先生は、遠隔授業で前期に「ドイツ語(初級)Ⅰ」後期に「ドイツ語(初級)Ⅱ」を担当することになり、シラバスを準備する段階では、引き受けなければよかったと思うほど不安を感じていたと言います。「どのような授業にしていけばよいのか、なかなかイメージがわかかなかったのが最大の不安でした。外国語の授業なのに多くの学生は目の前にいないし、発音指導をどうすればいいのか、ということが想像できませんでした。」

最大の悩みは、他大学の遠隔講義室で受講する学生に、どうやってリアルさ(現実感)を持ってもらうかという点だったと言います。「学習内容と担当教員には密接な関係がありますから、そのどちらにも学生が『現実感覚』を持ってないと、学習内容は、ただの『勉強対象』で終わってしまうと思うんです。」

■授業改善にもつながる遠隔授業

そこで先生は「画面に映る遠隔講義室の学生たちの反応に細心の注意を払う」ことを自分に言い聞かせ、一方的な講義形態にならないよう、音読や会話練習によって受講学生が「参加している」意識を持てるよう工夫しました。さらに、5月から他大学の遠隔講義室を巡回訪問し、補習授業を行いました。

「やはり受講している学生を直に知らないのはとても不安だし、どんな顔や表情をしているのか分かりませんからね。学生の反応・様子を見ると、喜んでくれたと思います。『画面で見るとはかなり違います



信州大学 松岡 幸司准教授

ね」と言われたり…(笑)」「学生同士については、一緒に勉強しているのがどんな人たちなのか分からないし、反応も分からない。だから授業中に質問したり確認するのは『勇気』がいると思うんです。でも目の前に『生(なま)の教員』が現れると、気軽に話もできるし、些細なことまでも聞きやすいと思いますよ。」

また、eChes については、信州大学ですでに同様のシステムを使用していたことから、「違和感はなかった」と言います。ただ、月曜授業のため、前週の後半には翌週のプリントをアップしなければならず、授業の進め方を直前に変更できない点に窮屈さを感じたこともありました。

それでも、遠隔授業を経験したことがない教員には「試しにやってみては？」と勧めます。「普段何気なくやっている自分の授業を、本当に細かい点まで点検することになるので、授業改善という点からも、遠隔授業はとても良いチャンスだと思いますね。」



遠隔授業教員・受講生インタビュー

高校時代から興味があつた分野を履修

佐久大学 看護学部1年 甘利 幸佳さん

前期受講科目／「ドイツ語(初級)Ⅰ」(月曜・5限)、
「物理学の世界」(水曜・5限)

■eChesを大学と自宅で活用

甘利さんは、入学した初日に遠隔授業のことを知り、特に「ドイツ語(初級)Ⅰ」と「物理学の世界」に興味を持ったと言います。

「ドイツの建造物に興味があり、行ってみたいなあと思ったのが理由です。物理は、高校のときの『化学Ⅱ』で物理に似たような内容を学んだところから興味を持ちました。」

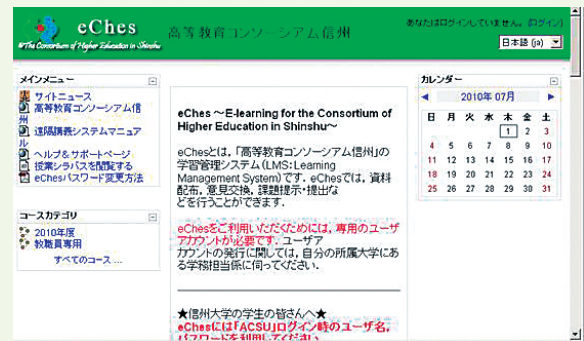
ドイツ語の松岡先生が佐久大学で巡回補習をされたことについて、「遠隔授業だと発音の口の動きまでは分からないですが、実際に目の前で見られて、とてもよく分かりました。」と甘利さん。佐久大学ではドイツ語や物理の開講がないため、「高等教育コンソーシアム信州の遠隔授業で、他大学の授業が受けられるので、とてもいい」と感じています。

また、eChesを一日に1～2回、自大学のパソコン教室と自宅で見、課題提出や復習で利用したそうです。とくに「物理学の世界」では、開講日の同時間に自大学の補講が入ることがあり、ビデオコンテンツを見て受講しました。



佐久大学 甘利 幸佳さん

eChes(イーチェス)とは



eChes (E-learning for the Consortium of Higher Education in Shinshu) は、高等教育コンソーシアム信州専用の LMS (Learning Management System : 学習管理システム) です。eChesでは、インターネットを介した講義資料の取得、課題レポートの提出、受講生同士の意見交換や講師への質疑応答などを行うことができます。

eChes は、学生が受講する科目しか見られないため、他の授業がどんなことをやっているか気になるという甘利さんは、「参考に見られるようにしてもらえるといいと思う」と言います。また、高校のときに化学の実験が面白かったことから、遠隔授業にも化学系の科目があったらいいのでは、との思いを話してくれました。

■後期も2科目を受講予定

後期は「ドイツ語(初級)Ⅱ」「新聞と私たちの社会(信濃毎日新聞寄附講義)」の受講を考えており、今後も積極的に受講していきたいという甘利さん。「初めて遠隔授業を受けたとき、講義室が少し遠いこともあって、受けるのはどうしよかなあと思いました。でも、実際に遠隔授業を受けてみて、『ドイツ語』も『物理学の世界』もどっちもよかったので、また受けてみようと感じました。」

まだ遠隔授業を受けたことがない同級生や友人には、「1回目の授業で、授業のやり方が分かると思うので、それだけでも参加してみると、だいぶ印象は違うと思います。時間があったら参加してみたいと勧めたい」と話してくれました。

遠隔授業教員・受講生インタビュー

必修科目の合間に遠隔授業を履修

松本歯科大学 歯学部1年 中村 圭吾さん

前期受講科目／「物理学の世界」(水曜・5限)、
「基礎自然科学(数理系)I」(火曜・2限)

■遠隔授業で多角的な見方ができる

歯学部で学ぶ中村さんは、自大学の授業が、ほぼ毎日1限から4限まで詰まっているという多忙なかで、2科目受講しました。インタビューでは、遠隔受信している「物理学の世界」(担当：信州大学 矢部正之先生)についてお聞きしました。

松本歯科大学では、「物理学の世界」の授業を録画したビデオをまず学生が聴講し、その後、松本歯科大学の担当教員が補足したり、学生同士が意見交換をする、というスタイルで受講しています。

「『物理学の世界』は自分で希望した科目なので、

けっこうおもしろいなあと思って毎回聞いてますね」と話す中村さん。受講前には、遠隔授業がどんなものかよく分からなかったり、配信先と受講時間にずれがあることなど、不安もあったそうです。

ところが実際に受講してみると、授業の映像はとてもきれいに見ることができ、同じ授業を受ける学生の間でも「パソコンで講義が見れるということで、みんな感動していた」と言います。

「矢部先生は話し方も面白いですし、日常生活の中で、物理ってこういうおもしろみがあるんだということが伝わるので、大学から物理がある人に勧めたいですね。」「僕は自分の大学で物理があり、そのプラスアルファで他大学の物理も受けているので、違った角度で考えたり、多角的に見られていいですね。」

■eChesは授業前と授業中にチェック

「物理学の世界」は、授業資料がレジューメ形式でeChes上にアップロードされます。中村さんは、授業前にまず資料に目を通し、授業が始まると資料をととききチェックしながら受講しているそうです。

eChesについて、「先生が補足の説明資料もアップしてくださっていたり、授業の様子がビデオコンテンツで見られたりして復習ができるので、授業で録画ビデオを見て分からないなと思ったときに、後で見られるのでいい」と感じています。また、「『いつでも見られますからどうぞ』というのがいいところだと思うので、第1回目のビデオを見る機会があれば、その後も定期的に見るようになると思います。いろんな授業のビデオコンテンツがあって、好きな先生の授業を選べたり、興味のある回だけを見られたりしてもいいなあと思いますね。」と話してくれました。



松本歯科大学 中村 圭吾さん



遠隔授業教員・受講生インタビュー

自分の大学を「再認識」できる遠隔授業

清泉女学院大学 人間学部4年 山本 美幸さん

前期受講科目／「社会の中の個人として生きる」(木曜・5限)、
「大学院生向け英作文」(金曜・5限)

■先生の勧めと興味半分で遠隔授業を受講

現在4年生の山本さんは、田村亮子先生が講師を務めたセミナーへ参加したことがきっかけで、清泉女学院大学へ編入しました。遠隔授業では、信州大学加藤鉦三先生担当の「社会の中の個人として生きる」と「大学院生向け英作文」の2科目を受講しました。両方とも加藤先生の科目であることについては、「たまたまだった」そうですが、田村先生の勧めもあり、この2科目を受講することを決めたとはいいます。

遠隔授業や eChes に対しては、「コンピュータの知識があまりないので、最初は少し戸惑いましたね。レポート提出にも eChes を使うということで…」と少し抵抗があった様子。しかし、受けてみようかな、という興味が勝り、受講を決めたそうです。

eChes は、「先生が提示して下さる授業のまとめや、宿題の確認などで1科目につき、週4回程度」見ており、「課題が出来上がったら即、先生のところに送れることが便利」だと感じた山本さん。とくに「大学院生向け英作文」は、開講当初、授業に参加できなかったため、3回分の授業を自宅でビデオコンテンツを見て受講しました。

しかし、1回のビデオコンテンツは90分、3回分では4時間半。「たまってから後でまとめて見る、というのもけっこうきつかったです。上手に利用しなければ」と思ったそうです。

■遠隔授業はさまざまな価値観を知る好機

さらに、「遠隔授業は、自分たちの大学と他大学が『こういうところが違うんだ』ということに気づくよい機会」だと言います。「遠隔授業で『自分たちのおすすめの本』をそれぞれ発表したとき、清泉女学院大学の学生で『聖書』って言った人がいたんですね。そういう言葉が出ることは、ほかの大学にはない、清泉女学院大学の特長だなと思ったんです。(遠隔授業は、) 普段接することのない分野で学ぶ学生の意見も知ることで、自分の大学や専門の特色を再認識できる場所なのかなあと。学生もそれぞれの特色を持ったまま授業を受けますので、先生もおもしろいんじゃないかな、とったりしました。」

また、同一授業を受講する他大学の受講生と、一度顔合わせをするのはどうか、とのご提案をいただきました。「次の授業の時に『ああ、この人ね』って思えるし、質問をしたり、もっと交流ができるんじゃないかなと思います。」



清泉女学院大学 山本 美幸さん



遠隔授業教員・受講生インタビュー

遠隔授業で幅広い知識を身に付けたい

諏訪東京理科大学
工学・マネジメント研究科1年 宮下 和樹さん
前期受講科目/「日本国憲法」(火曜・3限)

■大学院生向けの科目が増えるといい

修士課程で学ぶ宮下さんは、松本大学配信の「日本国憲法」を受講しました。「自分の大学は文系科目が少なく、日本国憲法は前から勉強してみたいと思っていたので、この機会に受講しました。」

担当教員から遠隔授業の冊子シラバスを渡され、遠隔授業を知ったという宮下さん。「大学院生向け英作文」にも興味があったのですが、自大学の授業と重なってしまうことから、受講をあきらめました。「英語の論文を書きたいので、文法や、論文の書き方などを指導してくださるとありがたいです。ゼミでも英語を訳して発表することがありますので。大学院生向けに英語以外の言語や、自分の大学でも応用的な授業があってもおもしろいと思います。」

■コンソーシアム独自のeChesを大学で利用

諏訪東京理科大学では、東京理科大学との間で遠隔授業を行っており、宮下さんも東京理科大学の遠隔授業を受講したことがありました。「コンソーシアムの遠隔授業は、授業中にマイクを使って遠隔地とやり取りができる点が最大の違いだ」と言います。「他

大学の先生とコミュニケーションがうまくとれるだろうかと思っていましたが、実際に授業を受けてみると、とくに問題はありませんでした。」

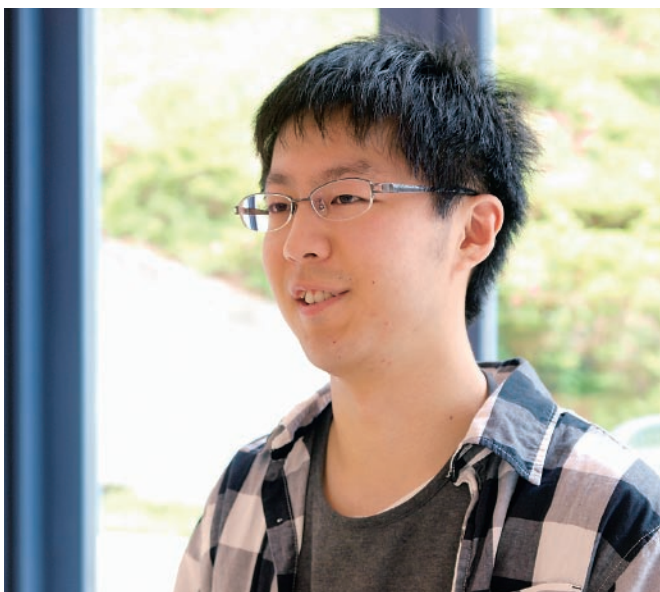
コンソーシアムの eChes を使った質問方法や資料配布も、最初は少し戸惑ったと言います。しかし徐々に慣れ、大学で週 1 回程度 eChes を利用しました。「やっぱり家にいるときと大学にいるときでは、集中できる環境が違います。授業の復習や、資料のプリントアウトに使いましたが、遠隔授業システムの不具合で受信できなかったときは、ビデオコンテンツで授業を受けました。この点はすごくいいと思いました。」

後期の受講について宮下さんは、研究や就職活動などで忙しくなってしまうが、時間が合えば受講したいと考えています。まだ遠隔授業を受けたことのない人に遠隔授業を勧めるとしたら?という質問には、「自分の大学でできない授業を受けられるのがメリットだと思うので、その点を勧めたいです。また、同じ名称の科目でも、他大学の授業は内容が違うと思うので、興味がある人には教えてあげたい」と答えてくれました。

遠隔授業担当者からひと言

多くの先生方のご支援を頂き、初年度前期の遠隔講義は無事に終了致しました。講義の支援を通じ驚いたことは、学生達が画面の向こうにいる他大学の講師や受講生と積極的に話をしていくことです。特に「遠隔講義では難しい」と思われた言語教育では、受講生はマイクに向かって対面授業のように発音を練習し、単語の読み方を質問していました。また eChes に公開された講義ビデオを見て、復習に役立てている様子も見られました。このように、遠隔講義は他大学の授業を聞くだけでなく、その機器的特徴を活かし学生達に有効利用されています。

後期も多くの方々にご利用頂けるよう運用支援致したいと思いますので、ご支援、ご協力の程、宜しくお願い致します。



諏訪東京理科大学 宮下 和樹さん

「長野県内大学合同就職説明会」を開催しています

6月29日(火)、7月13日(火)の両日、高等教育コンソーシアム信州加盟各大学合同の、就職説明会が開催されました。

メイン会場となった、信州大学松本キャンパス61番講義室での企業説明の様子を、諏訪東京理科大学、清泉女学院大学、長野大学、信州大学各地キャンパス(教育学部・工学部・農学部・繊維学部)へ同時中継しました(※)。

この就職説明会は、企業研究のファーストステップ「業界を知る」ことを目的とし、学部3年生以下と修士課程1年生を対象に、昨年度から開催されています。

今年度は全5回シリーズで、毎回4~5の企業と団体が参加します。5回すべてに出席すると、20数社の企業説明を自大学にいながら聴くことができます。後期にも3回開催する予定です。

参加企業など詳細は、高等教育コンソーシアム信州ホームページで随時お知らせしますので、学生の皆さんはぜひご参加ください!

■これまでの参加企業

第1回 6月29日(火)

(株)富士通長野システムエンジニアリング、
新光電気工業(株)、(株)マルイチ産商、(株)八十二銀行

第2回 7月13日(火)

キッセイコムテック(株)、(株)甲信マツダ、(株)シューマート



※信州大学工学部は6/29のみ受信。同大学繊維学部は6/29開催分を録画受信。

「K³茶論」にお越しください!

「K³茶論(ケー・スリー・サロン)」は、毎回異なる講師の方をお招きし、遠隔講義システムを活用して自由なテーマのもと参加者同士で楽しくトークをする、という気軽なスタイルの「茶論(サロン)」です。聴講者としてはもちろん、講師としても、どなたでも無料でご参加いただくことができます。

毎月定例開催しておりますので、ぜひ一度足をお運びください!開催予定など詳細は、高等教育コンソーシアム信州ホームページをご覧ください。



■これまでに開催したテーマと講師

第13回 6月22日(火)

「Nurse Practitioners in the United States :
Education, Training and Roles アメリカにおけるナース・
プラクティショナーについて-教育・研修とその役割-」
Carolyn S. Melby 先生(佐久大学客員教授)

第14回 7月6日(火)

「サイバー犯罪の現状とインターネット対策」
戸川隆浩警視(長野県警察サイバー犯罪対策室長)

※「K³」は、「高等教育交流(Koutou Kyouiku Kouryu)」の略称です。

※ホームページで過去のK³茶論を見ることができます

⇒<http://www.c-snet.jp/textbook/k/>

第8回虹色フェスティバル開催!テーマは「ONE~つながる心」

6月26日(土)、松本大学を会場に、長野大学、清泉女学院大学、清泉女学院短期大学、諏訪東京理科大学、松本大学の学生60名の参加で行われた虹色フェスティバル。県内の同世代の学生たちが、レクリエーションや話し合いを通じて、知り合い、語り合うなかで「大学生であることの価値」を見出す交流の輪が、今年も受け継がれました。

【参加学生からのメッセージ】

普段では集まらない他校の学生の様々な考えを知ること、とても貴重な体験でした。私は新たな視野が広がりました。始めの緊張も、笑いとお互いのおかげですぐに打ち解けることが出来ました。話し合いは長野県内の学生にとって、地域への大きな、良い還元の間になると思います。また、長野県が一体となるイベントに定着しつつあるこの企画に、少しでも関わっていける事を願っています。最後に、この日の出会いを虹のように架けてくれた参加者の皆さんに、深く感謝申し上げます。

清泉女学院大学3年 土屋文香



虹フェスでは、新しい試みとして「長野県でキャンパスフェスティバルを行うとしたら…」と題した話し合いをしました。昨年、高等教育コンソーシアム信州で行われた、広島キャンパスフェスティバル視察で感じたことを言葉にするのは難しかったのですが、写真を見ながらの説明だったので、雰囲気だけでも伝わったと思います。もしも広島に行っていなかったら、このテーマを思いつくことも、話し合い自体もなかったかもしれません。今回の話し合いを通して、長野県でキャンフェスをしてみたいという人が増えてくれたら嬉しいです。

松本大学2年 森山綾子

運営会議が開催されました

6月24日(木)、長野大学(上田市)において、第6回高等教育コンソーシアム信州運営会議が開催されました。議題と報告の内容は次のとおりです。

議題 1. 平成23年度以降のコンソーシアム活動について

2. 平成23年度以降の春季開催会場について

3. その他

報告 1. 推進チーム会議報告について

2. 第14回「K³茶論」開催について

3. 「県内大学合同就職説明会」の開催について

4. その他

加盟大学の紹介

高等教育コンソーシアム信州に加盟する、長野県内の個性豊かな8つの高等教育機関(信州大学、長野県看護大学、佐久大学、諏訪東京理科大学、清泉女学院大学、長野大学、松本歯科大学、松本大学)の中から、毎号2大学ずつ、特色ある活動や取り組みをご紹介します。

長野県看護大学

〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂1694 TEL:0265-81-5100 (代表) URL: <http://www.nagano-nurs.ac.jp/>



長野県看護大学は、県内初、全国で3番目の公立看護大学として平成7(1995)年4月に開学しました。以来、人間を深く理解し、人々への配慮が自然にできる豊かな人間性と幅広い視野をもつ看護職者、研究者の育成を目指し、さらに地域社会をしっかりと見つめながら国際的な視点も大事にする看護教育を追究しています。

特色ある活動の一例としては、学部のカリキュラムに、本年度本学より配信中の「国際看護学」を学んだ後に履修する「国際看護実習」があります。これはサモア国立大学健康看護学部と本学の協定に基づき、両校の学生が隔年ごとに日本、そしてサモアを訪れ、実際に共同で患者様を受け持ち、異文化看護や国際協力看護の視点を養います。特にサモア現地では、日本とは異なるプライマリ・ヘルス・ケアの原則に基づいた看護師の役割を実践的に学ぶ貴重な機会を提供しています。

また、研究面では、大学院看護学研究科博士(前期・後期)課程や、看護実践国際研究センターを設置し、看護学領域を中心に多くの研究成果をあげてまいりました。研究センターのプロジェクトのひとつに「高齢者水中運動教室」があり、参加した皆さんは大学と地域を結ぶ同志のような存在になっています。

これからも、看護職者のさらなる資質向上のため、地域社会のニーズを敏感にとらえて応えていくこと、看護学を発展させることを使命として、魅力ある大学づくりに、たゆみなく取り組んでいきます。



松本歯科大学

〒399-0781 長野県塩尻市広丘郷原1780 TEL:0263-52-3100 (代表) URL: <http://www.mdu.ac.jp/>



【教育目標】 本学の教育目標は、建学の理念を具現化し、人間教育全体を教育目標としています。「優れた歯科医師は、まず優れた人間でなければならない」という教育方針を掲げ、学生が将来歯科医師として社会に貢献し、歯科医学の発展に寄与することができるように、達成目標を定めています。

【特色】 昨今、少子化、高等教育水準の低下などの社会問題を背景に、歯科医師需給問題、卒後研修の必修化など歯科医学教育を取り巻く環境が一段と厳しくなっています。

本学ではこのような社会状況に対応し、学生の学習・生活態度の習慣づけのために学生寮「CAMPUS INN」の開設や教育学習支援センターの設置による教育課程の総合的な検討・支援コミュニケーション能力の向上、学生相談室や保健室の設置による学生の心理カウンセリングおよび健康相談の実施、健康を考慮したヘルシーメニューなど1日3食を低料金(500円)で学生に対し提供するなどしています。

また、美しいキャンパスの自然環境を維持するなど、地域歯科医療への貢献や歯科医学研究の発展を目指してさまざまな努力も行なっています。

コンソーシアム会員募集中!

県内高等教育と地域の発展を目指す高等教育コンソーシアム信州をサポートしませんか? 高等教育コンソーシアム信州では、会員を募集しています! 詳しいことについては、高等教育コンソーシアム信州事務局までお問い合わせください。

■年会費 特別会員(長野県内地方公共団体)、賛助会員(団体・個人)とも、1口1万円、1口以上

■会員特典

- ①高等教育コンソーシアム信州のホームページに、会員として社名(団体名・個人名)を掲載させていただきます(リンクを張ることも可能です)。
- ②高等教育コンソーシアム信州のパンフレットに、会員として社名(団体名・個人名)を掲載させていただきます(ただし、パンフレットは年1回発行のため、年度途中に会員になった際は、掲載できないことがあります)。
- ③高等教育コンソーシアム信州が主催する、フォーラムや講演会の案内をお送りいたします。
- ④「S-NET NEWSLETTER」など、コンソーシアムの刊行物をお送りいたします。
- ⑤会員団体の企画を、高等教育コンソーシアム信州が後援いたします(書類の提出等、手続きがあります)。

編集後記

インタビューのため、県内各地の大学へ伺いました。広い長野県は、他大学へ行くだけでも小旅行。行く先では先生が気さくに話しかけてくださり、学生インタビューでは学生以上に緊張しました。観光名所にわき目も振らずインタビューしたかいあって(?)このたび発行に至りました。多くの方にご協力をいただきまして、本当にありがとうございました。